

気象災害

・青字：2℃上昇

・赤字：4℃上昇

気温の上昇

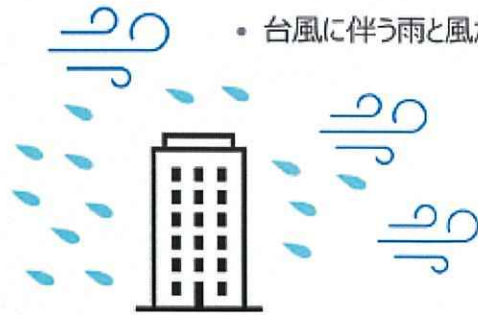
- ・年平均気温が約1.5℃/約4.5℃上昇

猛暑日や熱帯夜はますます増加し、冬日は減少する



強い台風の増加

- ・台風に伴う雨と風が強まる



海面水位の上昇

- ・沿岸の海面水位が
約0.39m/約0.71m上昇



激しい雨の増加

- ・日降水量の年最大値は
約12%(約15mm)/約27%(約33mm)増加
- ・50mm/h以上の雨の頻度は約1.6倍/約2.3倍増加



資料) 文部科学省・気象庁「日本の気候変動2020」より国土交通省作成

71

農業・畜産被害

畜産への影響

●現在の状況

夏季の暑熱ストレスによる家畜や家禽への影響（死亡、生育の悪化、肉質の低下、乳量・乳成分の低下、採卵数や卵の質の低下等）が発生。

農林水産省は2023年9月3日、猛暑による全国の畜産被害状況（7月1日～8月15日）をまとめた。

熱射病などで死亡、廃棄した家畜は乳用牛が959頭、肉用牛は235頭と家畜牛合計で1,194頭に上った。また、豚は657頭、ブロイラーは28万9千羽、採卵用ニワトリは13万6千羽だった。
日本経済新聞

●将来予測される影響

- ・温暖化とともに、乳用牛、肥育去勢豚、肉用鶏の成長への影響が拡大
- ・乳用牛は、高温だけでなく高湿度になると生産性への負の影響が増大

農業への影響

米 高温障害

2023年の記録的猛暑で秋田県産米の収量や品質に影響が出ています。JA全農あきたは高温障害で1割から2割程度収量が少なくなるという見通しを示しました。 Yahooニュース

今年のコメ不足 コメの流通業界は、2023年産米の作況指数は平年作以上だったが、猛暑の影響で品質が低下し一等米の比率が減少したことが一つの原因
Yahooニュース

野菜

猛暑で野菜高騰、ニンジン7割高 ピーマン日焼けで廃棄

野菜の価格が軒並み高騰している。全国的な猛暑が収穫量の減少や生育障害につながった。ニンジンの卸値は平年比7割高、ダイコンも同5割高い。状態が悪く廃棄や店頭回収されるケースが例年より目立つという。

19日の東京市場におけるニンジンの卸値は1キログラム251円と平年（過去5年平均）比74%高い。ダイコンは1キログラム162円で平年比49%高い。 2023年9月20日 日本経済新聞

気候変動対策

地球温暖化による気候変動の対策には 緩和策と適応策 の2つがあります。



緩和対策 二酸化炭素を減らす

二酸化炭素を減らす 3つの方法

- ①**省エネルギー** 化石燃料の消費を減らす
- ②**再生可能エネルギー**に変える（創エネ）
- ③**吸収**する（森林、海） 蓄える

省エネルギー デコカツ



- デ 電気も省エネ 断熱住宅
- コ こだわる楽しさ エコグッズ
- カ 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ つながるオフィス テレワーク

75

再生可能エネルギーを創る・使う

- 再生可能エネルギーとは一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇せずに繰り返し利用できるエネルギーのことです。
- 発電時にCO₂を発生しません。太陽光発電、風力発電、水力発電、バイオマス発電などがあります。

